

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
子ども家庭支援論 Study on Family Support		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	今川 晋平	
概要				
<p>本講義では、子どもが育つ環境としての家族が果たす役割や機能について基礎的な理解を深め、家庭の支援における子ども達の発達段階を理解し、少子高齢化や核家族化などの家庭を取り巻く社会状況と子育てのための支援体制の現状や問題点等、保育に携わる者に求められる基本的知識を学ぶ。</p>				
到達目標				
<p>(1) 家庭や育児についての支援の必要性について説明できる。 (2) 家庭支援における様々な諸問題についての現状を説明することができる。 (3) 支援体制等の現状や問題に対して、自分の考えや意見を述べることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 家庭の意義と機能：家族とは？家庭とは？世帯とは？ 3 家庭支援の意義と役割　－少子化の意味するもの－ 4 現代家庭の人間関係　－いまどきの子どもたち－ 5 家庭を取り巻く社会的状況 6 家庭支援の政策と制度と現状 7 特別なニーズを持つ家族と援助①育てにくさや障害のある子ども 8 特別なニーズを持つ家族と援助②児童虐待 9 特別なニーズを持つ家族と援助③ 10 保育現場でのソーシャルワーク 11 子どもの食育　－キレル子どもの食生活－ 12 子どもの発達段階としつけ　－体力・知力は遊びから－ 13 保育者担う社会福祉援助技術のあり方 14 演習ワークショップ①　－課題解決のための方策討議－ 15 演習ワークショップ②　－課題のグループ討議とまとめ－ 				
テキストおよび 参 考 文 献	金子恵美著、『増補 保育所における家庭支援』、全社協 他、講義時に資料を配布、参考文献はその都度紹介			
メ ッ セ ー ジ な だ	講義中の私語、携帯は慎む。 保育士証：必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 家庭や育児についての支援の必要性について説明できる。	問題なくほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いはないが基本的な説明をすることが可能である。	最低限度の説明はできる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	40%
(2) 家庭支援における様々な諸問題についての現状を説明することができる。	問題なくほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いはないが基本的な説明をすることが可能である。	最低限度の説明はできる。	説明できていない。		30%
(3) 支援体制等の現状や問題に対して、自分の考えや意見を述べることができる。	家庭支援を必要とする社会的状況を正しく認識してほぼ完璧に自分の考えを述べることができる。	家庭支援を必要とする社会的状況を基本的な説明をすることが可能で自分の考えを述べることができる。	家庭支援を必要とする社会的状況を最低限度の説明はでき自分の考えを述べることができる。	自分の考えを述べていない。	課題レポート (関心・判断・思考・把握)	30%